

アンケート回答者：合計18名（対話会に参加した学生30名の60%に相当）

内訳 学部4年 10名（工学/非原子力系）

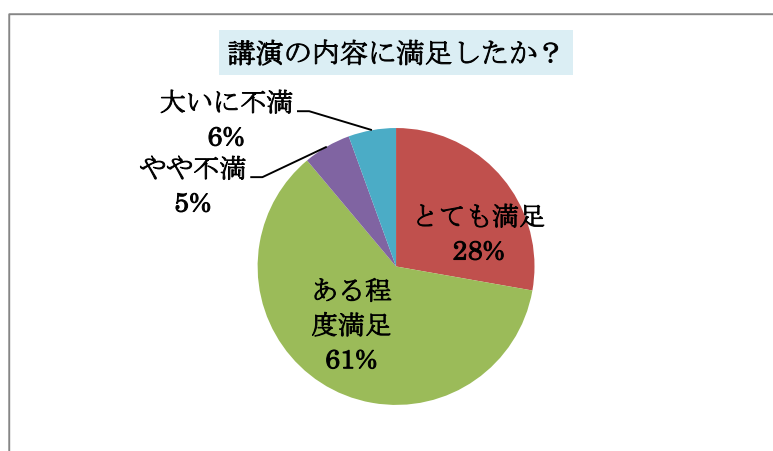
修士1年 5名、2年 3名（工学/非原子力系）

希望進路 就職 15名（電力2名、メーカー6名、その他7名）

進学 3名（原子力以外）

(1) 講演の内容は満足のいくものでしたか？その理由は？

とても満足した5名・ある程度満足した11名・やや不満だ1名・大いに不満だ1名



理由

(とても満足/ある程度満足)

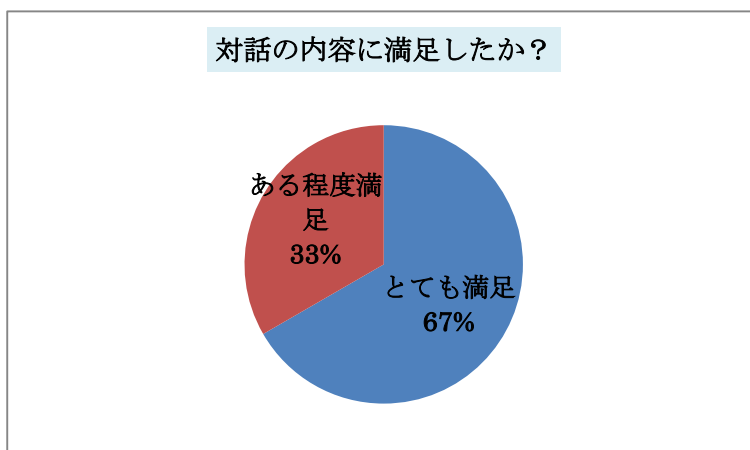
- ・ 専門家の視点で整理された説明で分かり易かった。
- ・ 再生可能エネルギーについて今まで以上に知ることができた。
- ・ 原子力についての理解を深めることができた。
- ・ 福島原発の現状や事故当時の状況等貴重な情報を知った。
- ・ 専門の方々の実際の声を聞けたから。メディア以外の専門家としての意見を聞くことができた。
- ・ 講演が時間の関係からカットされたのが残念。

(やや不満/全く不満)

- ・ 内容がカットされ過ぎてたため、話が伝わってこなかった。
- ・ 少し分かり難かった。

(2) 対話の内容は満足のいくものでしたか？その理由は？

とても満足した12名・ある程度満足した6名・やや不満だ0名・大いに不満だ0名

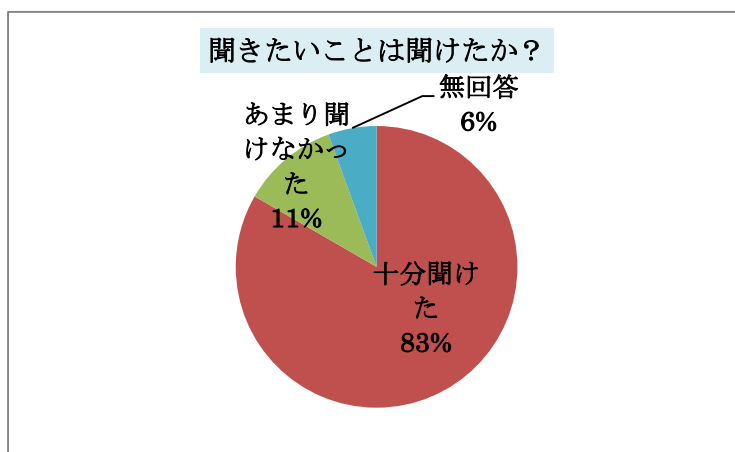


理由

- ・自分の質問に答えるために勉強してくれたことが感動した。
- ・知らなかったことを知ることが出来た。普段なかなか聞けない視点の話が聞けた。
- ・普段話さない世代と方との対話は新鮮でためになった。
- ・シニアから質問に対する回答以上の返答があり、話を良く聴けた。
- ・自分の意見も言えたり、様々なプロ目線の意見を聞くことができた。
- ・対話することで自分の聞きたかったことが聞けた。自分の知りたいことが質問できた。
- ・原子力の問題についての認識が変わった。
- ・一方的でなく、しっかりとグループで討論・議論ができたから。
- ・話を聞くことが出来たが、もう少し自分から話すことが出来ればより良かった。
- ・各質問に答えるという形式が良かった。

(3) 事前に聞きたいと思っていたことは聞けましたか？

十分聞くことができた15名・あまり聞けなかった2名・全く聞けなかった0名・無回答1名



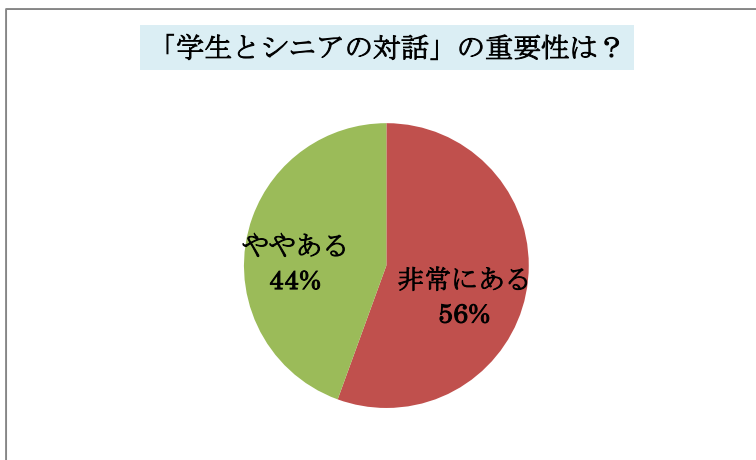
(4) 今回の対話で得られたことは何ですか？

- ・シニアとの対談で責任感が芽生えた。

- ・メガソーラに対する理解。発電所に対する理解。今後の原発について。
- ・普段とは異なる視点。エネルギーに対する認識。何でも調べてみるということ。
- ・自分でアンテナを張って情報を集めていくことの重要性を実感した。
- ・電力会社が経営に苦しみ続けているという現実を知ったこと。
- ・自ら確かな情報を取り入れ、仕事の責任とモラルの重要性を学んだ。
- ・原子力のメリット、ベース電源としての重要性。技術者目線で見たとときの原子力の重要性。
- ・様々な視点から物事を考えること。

(5) 「学生とシニアの対話」の必要性についてどのように感じますか？その理由は？

非常にある10名・ややある8名・あまりない0名・全くない0名

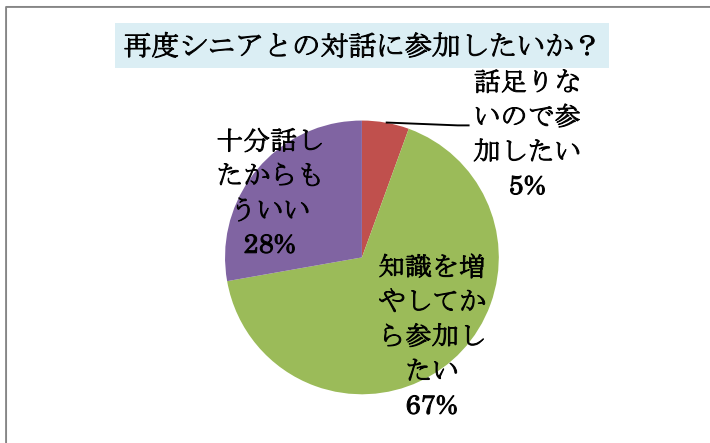


理由

- ・日本のエネルギー事情を若い人に知ってもらい、今後を考える必要があるから。
- ・若い人にはないノウハウや知識を知る必要があると思います。
- ・原子力発電の現状を知ってもらうためには必要だと思います。
- ・双方向から話合うことで「知識」として自分の中に還元させることが出来る点。
- ・メディアからの知識でなく、より専門的な意見が聞ける。マスコミでは知ることの出来ない実情を知ることができるから。
- ・そのような機会が少ない。声を聞いてみないと伝わらないこともあるから。
- ・これから社会に出るエンジニアとして、日本のエネルギー事情や先の地震や原発の知識は持つておくべきだと考えているため。
- ・原発のことを知らない人が多いので、このような会を開いて原発のことを知ってもらう必要がある。
- ・経験が語るものは大きいから。
- ・年上の方に自分の意見を言う経験が少ないと思うから。

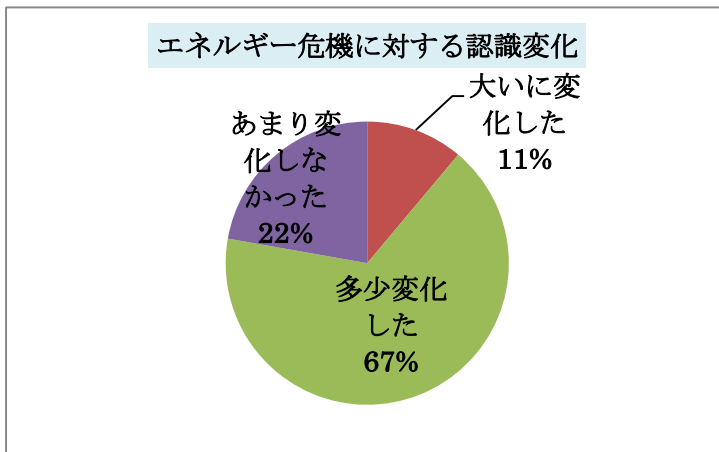
(6) 今後、機会があれば再度シニアとの対話に参加したいと思いますか？

まだまだ話したりないので参加したい1名・もっと知識を増やしてから参加したい12名・十分話ができたらもういい5名・二度も必要ないと思うからもういい0名



(7) エネルギー危機に対する認識に変化はありましたか？その理由は？

大いに变化した2名・多少变化した12名・あまり变化しなかった4名・全く变化しなかった0名



理由

(大いに、多少变化した)

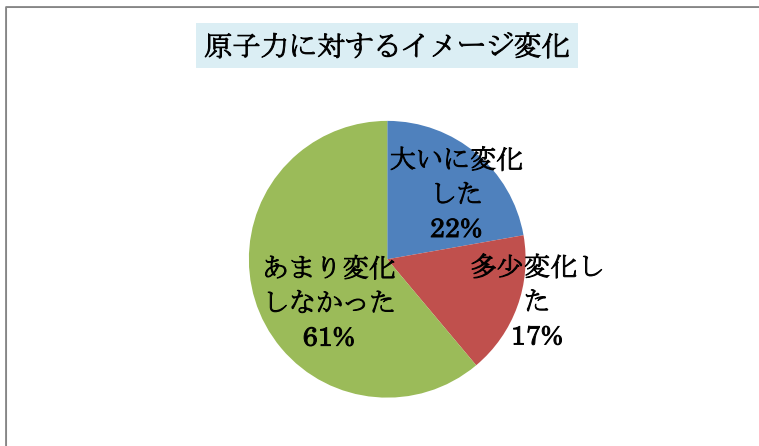
- ・思ってる以上に世の中の情勢とエネルギーが大きく絡んでおり、驚いたため。遠い将来の話ではなく、近い将来エネルギー危機が生じる可能性があると感じた。
- ・マスメディアでしか情報を得ていなかったから。
- ・金銭的な話は身近で分かり易い例えだったから。
- ・電力会社の現状を知ったから。原子力発電の重要性が理解できた。
- ・エネルギー供給が間に合っていると思っていたが、そうではなかった現実を知って、原発再稼働はデメリットだけではないということが分かった。
- ・火力発電の増加による支出の増加を数字で見ると、原発の停止による影響がいかに大きいか実感した。エネルギー資源の乏しい日本では原発が必要だと感じた。

(あまり变化しなかった)

- ・ある程度知っていた内容だった。
- ・以前からエネルギーに関する危機感があった。認識していた通りの状況だと確認できた。

(8) 原子力に対するイメージに変化はありましたか？その理由は？

大いに变化した4名・多少变化した3名・あまり变化しなかった11名・全く变化しなかった0名



理由

(大いに、多少变化した)

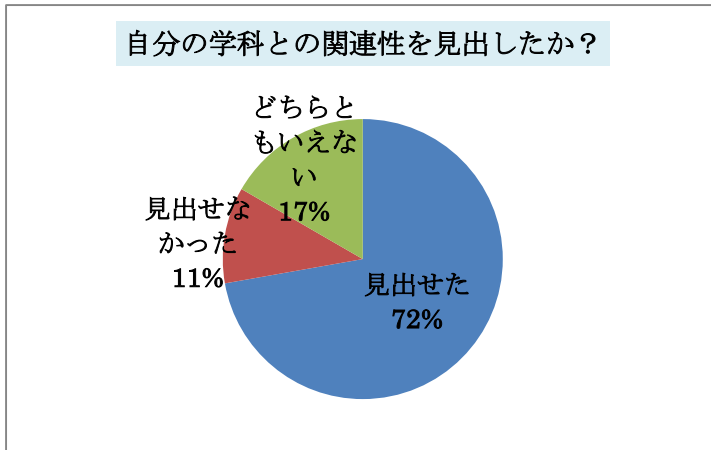
- ・放射能の安全基準や危険性について具体例を聞いたから。
- ・福島原発事故後、原発を停止しても普段通りの生活をしてきたから。
- ・必要だということが分かった。
- ・原子力の設備が改善されたことを聞き、多少安全に感じた。
- ・完全修復してはいるだけでなく、予断を許さない状況であると知った。

(あまり、全く変化しなかった)

- ・自分の持っていたイメージとシニアのイメージが似ていたから。
- ・自分で調べたこと、インターンシップや原発見学会で聞いたことと相違なかった。
- ・日本の有する資源の都合や国土、原子力の持つ影響は以前と同様のイメージ。
- ・やはりTVなどの情報は、ネガティブな面を多く報道していたと実感した。元々必要なもので、特別危険なものだという認識ではなかった。
- ・原子力に対する知識は深まったが、リスクの大きい発電であるというのは変わらない。

(9) 今回の対話で自分の学科との関連性を見出すことができましたか？その理由は？

見出せた13名・見いだせなかった2名・どちらともいえない3名



理由

(見出した)

- ・電気エネルギー問題は、電気電子にとって重要だから。
- ・再生可能エネルギーは原子力の次に重要となる発電方法だから。
- ・電気の分野に直接関わる話だった。電気の安定供給には原子力が必要であるため。
- ・原子力に限らずとも、エンジニアとしての在り方について再認識した。
- ・発電所の話だったから。エネルギー関係だから。
- ・電気が専門なので、発電や再生可能エネルギーなどとても関連のある話が聞けた。

(見出せなかった)

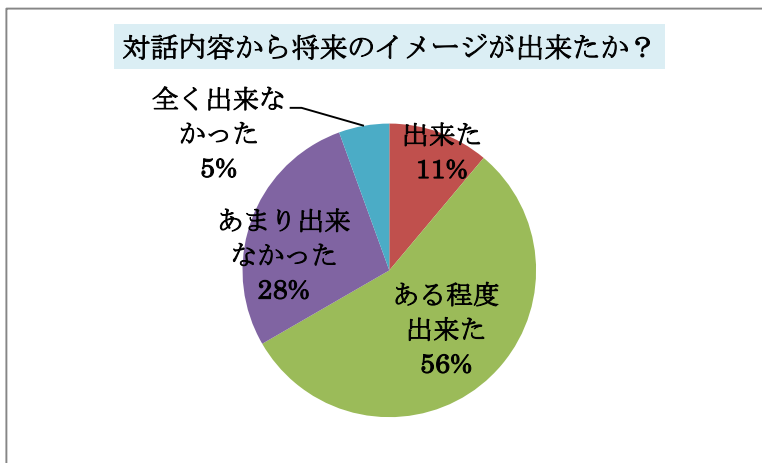
- ・原子力中心の話だったため。
- ・電氣的な側面が多く見られない。

(どちらとも言えない)

- ・まだ知識が浅いので、自分の学科との関連性は見いだせていない。
- ・電気電子と発電は切っても切り離せないものである。
- ・専門にこだわらず、幅広い知識を集めることが大切だと思ったから。

(10) 対話の内容から将来のイメージができましたか？その理由は？

できた2名・ある程度できた10名・あまりできなかった5名・全くできなかった1名



理由

(出来た、ある程度出来た)

・幅広い知識を身につけなければならないと感じたから。エネルギー問題について詳しく知るべきだと思った。

・自分の考えている将来とシニアの方の将来が似ているから。

・やはり原子力は重要なベースロード電源であるということが分かったから。

・エネルギーを扱う人間として今後どのような取り組みが必要かを学んだため。

・事故に基づいた厳しい安全基準を設け、復興がきちんとなされた後に、原子力発電による安価で安定した電力供給をしていく必要がある。また、一つの発電方法だけでなく、様々な形式をミックスしてこそ日本の経済が発展できると考える。

・原子力発電再稼働のために正しい知識を伝えようと思った。

・原子力と再生可能エネルギーが共存している社会。

・新しい技術で状況が大きく打開されない限りは、あまり未来は明るくないと感じた。

(あまり、全く出来なかった)

・時間が短く、そこまでイメージが膨らまなかった。

・自分の進路にあまり関係ない分野だから。

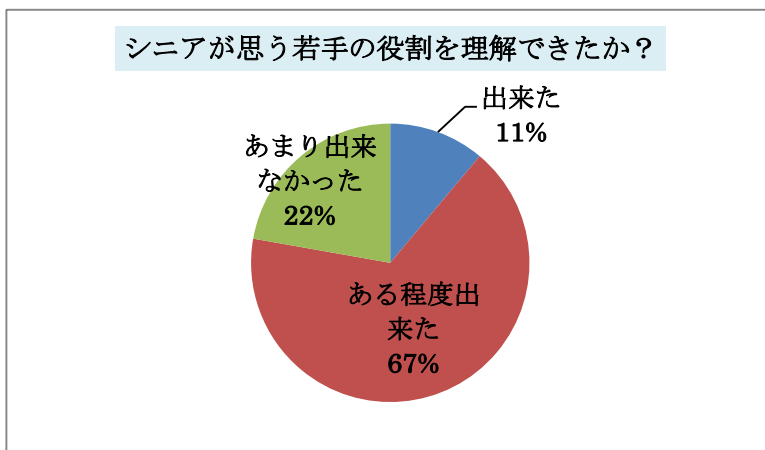
・これからどうなるかこの対話ではまだ分からなかった。

・やりたいこととかけ離れている。

・まだ原発の存在を身近なものに感じられず、再稼働するか否かも読めないで、その先の将来のイメージは出来なかった。

(11) 対話の中でシニアが思う若手の役割を理解できましたか？またその理由は？

・できた2名・ある程度できた12名・あまりできなかった4名・全くできなかった0名



理由

(出来た、ある程度出来た)

・将来のことを考えながら、エネルギー資材（資源？）の正しい運用方法を考えていかなければならないと思った。

・今後どういった仕事が必要なのかを具体的に語ってもらったため。

- ・過去の経験、知識は将来のエンジニア、現在の若手にとって貴重な財産であるため。
- ・一人一人がちゃんとエネルギー問題に向き合っていかなければならないと感じたから。
- ・日本のエネルギー事情についての知識を持ち、自分で必要な情報を取捨選択し、偏見のないエネルギーの知識を身につけること、また、それを発信していくこと。
- ・シニアから聞いたお話を後世または友達などに伝えていこうと思った。
- ・常に物事に対するアンテナを張り、自分なりの考えを持つべきではないかと思った。
- ・若い人たちがこれからの社会を引っ張っていかなければならない。
- ・シニアの予想するよくない未来を変えてほしい、という気がした。
(あまり、全く出来なかった)
- ・「役割」は分からなかった。自分の考えを持つことは必要だと思った。
- ・具体的なことまではあまり感じ取れなかった。
- ・若手の役割というと少しイメージが湧きづらく、具体的にどんなことをすればいいのか分からない。

(1 2) 自分が思っていた若手の役割とシニアの考えは違いましたか？どのような違いがありましたか？また、シニアの考えを聞くことで、自分の考えに変化はありましたか？できるだけ詳しくお答えください。

- ・シニアの考えは広い知識から導き出されたものだと感じた。自分も様々なことを知れば考えが変化すると思う、
- ・特に違いは感じなかった。だいたい同じだと感じた。
- ・変化というよりも、むしろ知ることが豊富にあったので良かったです。
- ・原発反対派だったが、原発の必要性を感じた。
- ・薄々気づいていたことが確信に変わったような気がした。ちゃんと自分で考えていかなければならないと感じた。原子力の重要性について再確認することが出来た。
- ・漠然とした意見ではなく、自分が行動して集めた情報に基づく意見を持つことが必要だと感じた。
- ・まだ自分の知識不足なので、これから若手の役割を考えられるように勉強していきたいと思う。

(1 3) 本企画を通して全体の感想・意見などあれば自由に書いて下さい。

- ・社会人になる前にいい体験が出来ました。
- ・基調講演の内容の見直し。
- ・こういった行いをしていることをもっと大々的にアピールしていくべきだと思う。
- ・予想以上に有意義な時間を過ごすことが出来ました。
- ・とてもためになったし、もっと色々な人にも聞いて欲しいと思った。
- ・非常に貴重な体験をする機会を与えて頂き感謝しています。
- ・100周年記念会館がオシャレだった。

若杉感想

対話会後のアンケートを集計して感じたことを下記します。

(1) アンケートの回収率が60%であり、他大学での対話会に比べて低かった。理由としては、今回は

進行の手違いのためアンケート用紙が対話会当日でなく後日配布され、回収されたことによるものと考えられる。また、対話会や原子力に対して批判的な学生がアンケート提出を逡巡したことも考えられる。しかし、逆にアンケートの回答に時間をかけたことで、しっかりした意見の記述が多く読み取れ、プラスの効果もあったように思う。

(2) 回収したアンケートからは、基調講演や対話会に対する学生の評価が高く、手ごたえが充分感じ取れ、シニアとして嬉しく思う。特に回答者全員が対話会に満足し、その必要性を認めている。例えば次のような学生のコメントは、シニアの思いが伝わり、今後の活躍を大いに期待させる。

「シニアとの対談で責任感が芽生えた。」

「自分でアンテナを張って情報を集めていくことの重要性を実感した。」

「漠然とした意見ではなく、自分が行動して集めた情報に基づく意見を持つことが必要だと感じた。」

「事故に基づいた厳しい安全基準を設け、復興がきちんとなされた後に、原子力発電による安価で安定した電力供給をしていく必要がある。また、一つの発電方法だけでなく、様々な形式をミックスしてこそ日本の経済が発展できると考える。」

「(若手の役割として) 日本のエネルギー事情についての知識を持ち、自分で必要な情報を取捨選択し、偏見のないエネルギーの知識を身につけること、また、それを発信していくこと。」

「非常に貴重な体験をする機会を与えて頂き感謝しています。」

批判的なコメントは少なかったが、対話の時間が短すぎた、基調講演はカットされ過ぎて難しかった等の意見もあった。今後の対話会の進行に可能な限り考慮すべきと思う。

以上